

桐生市庁舎建設基本設計市民説明会 開催結果

日 時：令和3年10月14日（木） 18時30分～19時30分

場 所：美喜仁文化会館スカイホール

参集者：48人

- 1 開 会
- 2 あいさつ 荒木恵司 桐生市長
- 3 説 明 「桐生市庁舎建設基本設計について」
株式会社 久米設計
- 4 質疑応答

質疑	応答
火災の発生は想定していないのか。スプリンクラーの設置は行わないのか。	建築基準法で必要な防災設備については設置を行う。スプリンクラーについては設置の予定はない。
雨水貯留槽は設置しないのか。設置する場合の場所や容量はどうなっているのか。	設置する予定。敷地内の雨については地下の雨水貯留槽に一度溜めることでピークカットを行い、その後排水する。庁舎部分と一部駐車場部分に設置予定。容量については現在検討中。
新庁舎建設における環境への対応について、市長が特に配慮した取組はなにか。	環境先進都市将来構想に基づいて、空調や照明などの節電により ZEBready 相当である 50%削減を目標としている。またこれまで要望があった EV 充電器についても設置を行う。
実施設計中に内容の説明や市民の意見を聞く機会はあるのか。	説明会を行うことについては今後の検討課題である。HP 等で随時情報を発信していただけるように検討を行う。

<p>庁舎において芸術性を発信することは出来ないのか。特に山口晃さんのショッピングモールについては桐生を題材にした作品のためどんな形にせよ発信していただきたい。また、桐生出身の芸術家の作品を、図書館の協力を経て展示するライブラリーを作成することは出来ないのか。</p>	<p>庁舎内での発信については検討していく。ショッピングモールについても関係各所と検討していきたい。ライブラリーについては多目的スペースの活用など展示について検討する。</p>
<p>駐車場について、車いすの方でも不自由なく使えるような幅を確保して欲しい。傾斜があるのでスロープなどの設置をお願いしたい。</p>	<p>通常より幅の広い車いす駐車場や思いやり駐車場を整備する。新川橋通りのバス停付近からはバリアフリー法に準じたスロープを設置予定。</p>
<p>庁舎の具体的な寸法などを知りたい。</p>	<p>基本設計概要版の最終ページに記載あり。最終的には実施設計で決定する。</p>
<p>建物の耐用年数はどれくらいか。IS値はどれくらいを想定しているのか。今後の人口の変化についてどのように対応するのか。仮設の駐車場について。現在想定している90億円の費用から増加することはないのか。</p>	<p>今回の建物は免震構造を採用し、災害時にも機能を維持できるような庁舎となる。柱のスパンを広くとるなど、将来のレイアウト変更にも対応しやすい設計としている。仮設駐車場については、職員駐車場を臨時市民駐車場として確保する予定。事業費増加について、先ほどの事業費には引越費用やパソコンなどの導入費用は算出されていないが、90億円より大きくならないよう事業費を精査し、財源の検討も継続して行う。</p>

5 閉 会